明治大学グローバル COE プログラム【現象数理学の形成と発展】

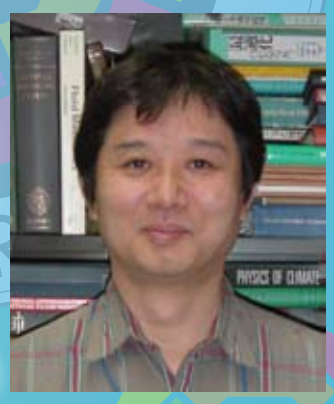
第 17 回 現象数理談話会

GCOE Colloquium

2011 年 10 月 24 日（月）16 : 30 － 17 : 30

明治大学 生田キャンパス 第二校舎 A 館 2 階 A207 教室

海洋での現象の解明と予測を目指した観測と数理の融合：データ同化



蒲地政文　KAMACHI Masafumi（気象庁気象研究所）

海洋での現象を解明し、また天気予報と同じように、海洋での水温場や流速場を予測することが世界中で始まっている。そのため、（現実であるが疎らにしか得られない）海洋観測を（物理学の原理を用いて解いているが各種プロセスの再現性や外力の誤差のある）数値モデルで補い双方の有益な情報を用いて最適化しようとするデータ同化という研究分野が発展している。数理科学の応用分野として見ると、最小分散推定に基礎を置くカルマンフィルターの系列と最尤推定に基礎を置く変分法の系列の手法が知られている。ここでは変分法を用いた例により、黒潮やエルニーニョなどの現象理解と気象庁で行われている予測について紹介する。

参加自由です。皆様のお越しをお待ちしております。

明治大学生田キャンパスへのアクセス：
小田急線　「生田駅」から徒歩 10 分 又は「向ケ丘遊園」駅北口から「明治大学正門前」行きバスで終点下車
詳しくは、http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ をご覧下さい。

明治大学グローバルＣＯＥプログラム
「現象数理学の形成と発展」　拠点リーダー：三村昌泰
http://gcoe.mims.meiji.ac.jp/　※更新情報を RSS 配信しています。
問い合わせ先：明治大学教学企画部グローバル COE 推進事務室
Email : gcoe@mics.meiji.ac.jp